

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 4 月 20 日 (2006.4.20)

【公開番号】特開 2002-34472 (P2002-34472A)

【公開日】平成 14 年 2 月 5 日 (2002.2.5)

【出願番号】特願 2000-220192 (P2000-220192)

【国際特許分類】

A 2 3 L 1/09 (2006.01)

A 2 3 G 3/34 (2006.01)

A 2 3 G 3/48 (2006.01)

A 2 3 L 1/03 (2006.01)

A 6 1 K 8/00 (2006.01)

A 6 1 Q 11/00 (2006.01)

【F I】

A 2 3 L 1/09

A 2 3 G 3/00 1 0 1

A 2 3 G 3/00 1 0 6

A 2 3 L 1/03

A 6 1 K 7/16

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 6 日 (2006.3.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】無水トレハロースを含有することを特徴とする温熱付与剤。

【請求項 2】無水トレハロースを含有することを特徴とする加水用食品。

【請求項 3】無水トレハロースと 60 以下の水性媒体とを混合することを特徴とする加水食品の製法。

【請求項 4】無水トレハロース 100 重量部に対して、60 以下の水性媒体を 0.1 ~ 1.5 重量部の範囲で混合することを特徴とする請求項 3 記載の加水食品の製法。

【請求項 5】無水トレハロースと 60 以下の水性媒体とを混合して加水食品を調製するための請求項 2 記載の加水用食品。

【請求項 6】無水トレハロース 100 重量部に対して、60 以下の水性媒体を 0.1 ~ 1.5 重量部の範囲で混合して加水食品を調製するための請求項 2 又は 5 記載の加水用食品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

また、上記の目的は、無水トレハロースを含有することを特徴とする加水用食品によって達成される。

また、上記加水用食品は、無水トレハロースと 60 以下の水性媒体とを混合して加水食品を調製するための加水用食品とすることが好適である。更には、無水トレハロース 1

0 0 重量部に対して、6 0 以下の水性媒体を 0 . 1 ~ 1 5 重量部の範囲で混合して加水食品を調製するための加水用食品とすることが好適である。